

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公表番号】特表2006-506445(P2006-506445A)

【公表日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-008

【出願番号】特願2004-569763(P2004-569763)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/568	(2006.01)
A 6 1 K	31/282	(2006.01)
A 6 1 K	31/513	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)
A 6 1 K	31/675	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 07 J	1/00	(2006.01)
C 07 J	41/00	(2006.01)
C 07 J	73/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/568			
A 6 1 K	31/282			
A 6 1 K	31/513			
A 6 1 K	31/573			
A 6 1 K	31/675			
A 6 1 K	33/24			
A 6 1 K	45/00			
A 6 1 P	3/10			
A 6 1 P	7/06			
A 6 1 P	11/00			
A 6 1 P	15/10			
A 6 1 P	31/04			
A 6 1 P	37/04			
A 6 1 P	43/00	1 1 1		
A 6 1 P	43/00	1 2 1		
C 07 J	1/00			
C 07 J	41/00			
C 07 J	73/00			

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

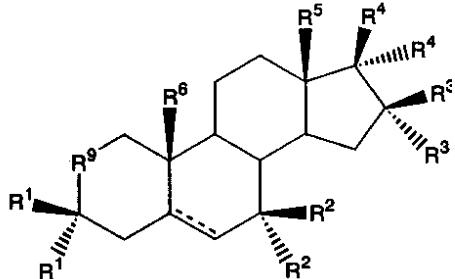
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

放射線の副作用または化学療法の副作用を治療、予防、もしくは回復するための薬学組成物であって、該組成物は、構造：

【化1001】



を有する化合物またはその塩を含み、

一方のR<sup>1</sup>は、-OH、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方のR<sup>1</sup>は、-Hであるかもしくは任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルであるか、または2つのR<sup>1</sup>は、一緒になって、=Oであり；

一方のR<sup>2</sup>は、-H、-OH、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方のR<sup>2</sup>は、-Hであるかもしくは任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルであるか、または2つのR<sup>2</sup>は、一緒になって、=Oであり；

一方のR<sup>3</sup>は、-H、-OH、ハロゲン、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方のR<sup>3</sup>は、-Hであるかもしくは任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルであるか、または2つのR<sup>3</sup>は、一緒になって、=Oであり；

一方のR<sup>4</sup>は、-NH<sub>2</sub>、C<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルアミン、C<sub>1</sub>～<sub>8</sub>ジアルキルアミン、-NH-C(O)-O-任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキル、N結合アミノ酸、-NH-C(O)-CH<sub>3</sub>、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-CH<sub>3</sub>、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-NH<sub>2</sub>であり、mは、1、2、3、4、5、もしくは6であり、かつ他方のR<sup>4</sup>は、-H、-CNであるかもしくは任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルであるか、または両方のR<sup>4</sup>は一緒になって、=NOHであるかもしくは=NO-任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルであり；

R<sup>5</sup>は、任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルであり；

R<sup>6</sup>は、-Hであるかもしくは任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルであり；そして

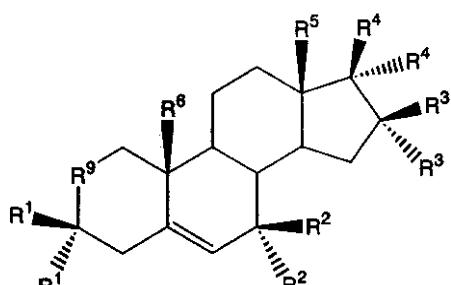
R<sup>9</sup>は、-C(R<sup>1</sup>0)<sub>2</sub>もしくは-O-であり、R<sup>1</sup>0は、独立して、-H、-OH、エステル、エーテル、もしくは任意に置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>アルキルである；

薬学組成物。

【請求項2】

請求項1に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化1002】

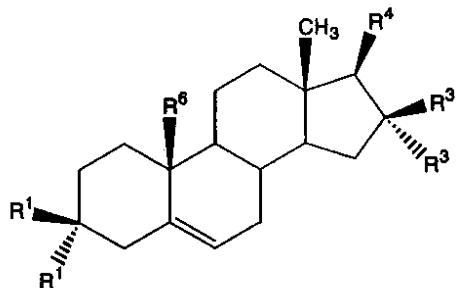


を有する、薬学組成物。

【請求項3】

請求項2に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化1003】



を有する、薬学組成物。

【請求項4】

請求項3に記載の薬学組成物であって、

一方のR<sup>1</sup>は、-OH、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方のR<sup>1</sup>は、-H、-CH<sub>3</sub>、-CH=CH<sub>2</sub>、-CCH、もしくは-CCH<sub>2</sub>であり；

一方のR<sup>3</sup>は、-Hもしくは-OHであり、かつ他方のR<sup>3</sup>は、-Hであり；そしてR<sup>6</sup>は、-Hもしくは-CH<sub>3</sub>である；

薬学組成物。

【請求項5】

請求項4に記載の薬学組成物であって、

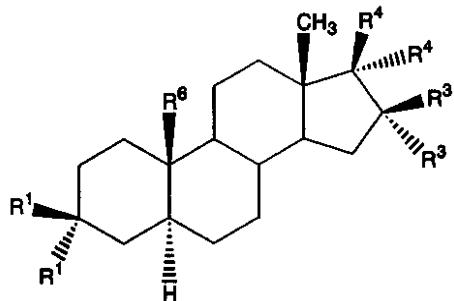
一方のR<sup>4</sup>は、-NH<sub>2</sub>、-NH-C(O)-CH<sub>3</sub>、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-CH<sub>3</sub>、アミノ酸、もしくはC<sub>1</sub>~<sub>8</sub>アルキルアミンであり、かつ他方のR<sup>4</sup>は、-Hであるか、または両方のR<sup>4</sup>は一緒になって、=NOHである、

薬学組成物。

【請求項6】

請求項1に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化1004】



を有する、薬学組成物。

【請求項7】

請求項6に記載の薬学組成物であって、

一方のR<sup>1</sup>は、-OH、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方のR<sup>1</sup>は、-H、-CH<sub>3</sub>、-CH=CH<sub>2</sub>、-CCH、もしくは-CCH<sub>2</sub>であり；

一方のR<sup>3</sup>は、-Hもしくは-OHであり、かつ他方のR<sup>3</sup>は、-Hであり；そしてR<sup>6</sup>は、-Hもしくは-CH<sub>3</sub>である；

薬学組成物。

【請求項8】

請求項7に記載の薬学組成物であって、

一方のR<sup>4</sup>は、-NH<sub>2</sub>、-NH-C(O)-CH<sub>3</sub>、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-CH<sub>3</sub>、アミノ酸、もしくはC<sub>1</sub>~<sub>8</sub>アルキルアミンであり、かつ他方のR<sup>4</sup>は、=NOHである、

$m - C H_3$ 、アミノ酸、もしくは $C_1 - 8$ アルキルアミンであり、かつ他方の $R^4$ は、-Hであるか、または両方の $R^4$ は一緒になって、=NOHである、薬学組成物。

【請求項9】

請求項1～8のいずれかに記載の薬学組成物であって、前記放射線または化学療法の副作用は、好中球減少症である、薬学組成物。

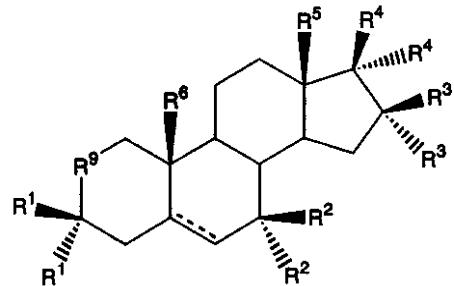
【請求項10】

請求項1～9のいずれかに記載の薬学組成物であって、前記放射線または化学療法の副作用は、血小板減少症である、薬学組成物。

【請求項11】

炎症状態を治療、予防、もしくは回復するための薬学組成物であって、該組成物は、構造：

【化1005】



を有する化合物またはその塩を含み、

一方の $R^1$ は、-OH、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の $R^1$ は、-Hであるかもしくは任意に置換された $C_1 - 8$ アルキルであるか、または2つの $R^1$ は、一緒になって、=Oであり；

一方の $R^2$ は、-H、-OH、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の $R^2$ は、-Hであるかもしくは任意に置換された $C_1 - 8$ アルキルであるか、または2つの $R^2$ は、一緒になって、=Oであり；

一方の $R^3$ は、-H、-OH、ハロゲン、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の $R^3$ は、-Hであるかもしくは任意に置換された $C_1 - 8$ アルキルであり；

一方の $R^4$ は、-NH<sub>2</sub>、 $C_1 - 8$ アルキルアミン、 $C_1 - 8$ ジアルキルアミン、-NH-C(O)-O-任意に置換された $C_1 - 8$ アルキル、N結合アミノ酸、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-CH<sub>3</sub>、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-NH<sub>2</sub>であり、mは、1、2、3、4、5、もしくは6であり、かつ他方の $R^4$ は、-H、-CNであるかもしくは任意に置換された $C_1 - 8$ アルキルであるか、または両方の $R^4$ は一緒になって、=NOHであるかもしくは=NO-任意に置換された $C_1 - 8$ アルキルであり；

$R^5$ は、任意に置換された $C_1 - 8$ アルキルであり；

$R^6$ は、-Hであるかもしくは任意に置換された $C_1 - 8$ アルキルであり；そして

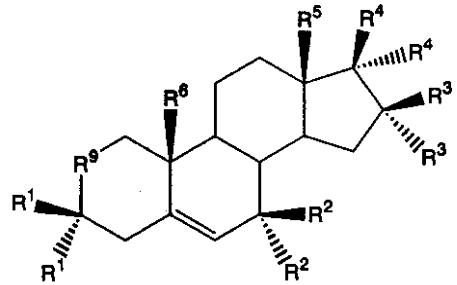
$R^9$ は、-C(R<sup>10</sup>)<sub>2</sub>もしくは-O-であり、R<sup>10</sup>は、独立して、-H、-OH、エステル、エーテル、もしくは任意に置換された $C_1 - 8$ アルキルである；

薬学組成物。

【請求項12】

請求項11に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

## 【化1006】

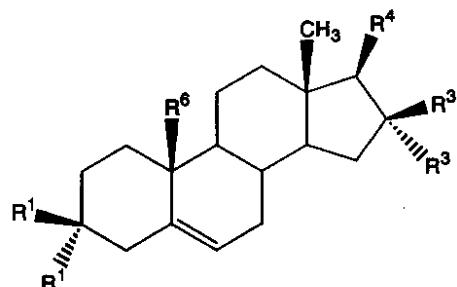


を有する、薬学組成物。

## 【請求項13】

請求項12に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

## 【化1007】



を有する、薬学組成物。

## 【請求項14】

請求項13に記載の薬学組成物であって、

一方のR<sup>1</sup>は、-OH、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方のR<sup>1</sup>は、-H、-CH<sub>3</sub>、-CH=CH<sub>2</sub>、-CCH、もしくは-C<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>であり；

一方のR<sup>3</sup>は、-Hもしくは-OHであり、かつ他方のR<sup>3</sup>は、-Hであり；そして

R<sup>6</sup>は、-Hもしくは-CH<sub>3</sub>である；

薬学組成物。

## 【請求項15】

請求項14に記載の薬学組成物であって、

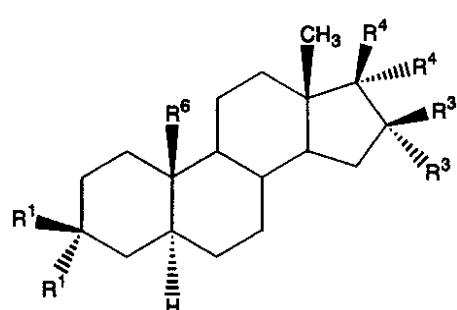
一方のR<sup>4</sup>は、-NH<sub>2</sub>、-NH-C(O)-CH<sub>3</sub>、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-CH<sub>3</sub>、アミノ酸、もしくはC<sub>1</sub>~<sub>8</sub>アルキルアミンであり、かつ他方のR<sup>4</sup>は、-Hであるか、または両方のR<sup>4</sup>は一緒になって、=NOHである、

薬学組成物。

## 【請求項16】

請求項11に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

## 【化1008】



を有する、薬学組成物。

**【請求項 17】**

請求項16に記載の薬学組成物であって、

一方のR<sup>1</sup>は、-OH、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方のR<sup>1</sup>は、-H、-CH<sub>3</sub>、-CH=CH<sub>2</sub>、-CCH、もしくは-CCH<sub>2</sub>であり；

一方のR<sup>3</sup>は、-Hもしくは-OHであり、かつ他方のR<sup>3</sup>は、-Hであり；そしてR<sup>6</sup>は、-Hもしくは-CH<sub>3</sub>である；

薬学組成物。

**【請求項 18】**

請求項17に記載の薬学組成物であって、

一方のR<sup>4</sup>は、-NH<sub>2</sub>、-NH-C(O)-CH<sub>3</sub>、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-CH<sub>3</sub>、アミノ酸、もしくはC<sub>1</sub>~<sub>8</sub>アルキルアミンであり、かつ他方のR<sup>4</sup>は、-Hであるか、または両方のR<sup>4</sup>は一緒になって、=NOHである、

薬学組成物。

**【請求項 19】**

請求項11~18のいずれかに記載の薬学組成物であって、前記炎症状態は、自己免疫疾患である、薬学組成物。

**【請求項 20】**

請求項19に記載の薬学組成物であって、前記自己免疫疾患は、多発性硬化症、全身性紅斑性狼瘡、円板状紅斑性狼瘡、クローン病、または炎症性腸疾患である、薬学組成物。